

令和8年4月

# しこちゅ〜コモンズが 完成しました



セミナー室



ミーティング室



実験室



実験室

本市には約200社の紙関連企業が立地する

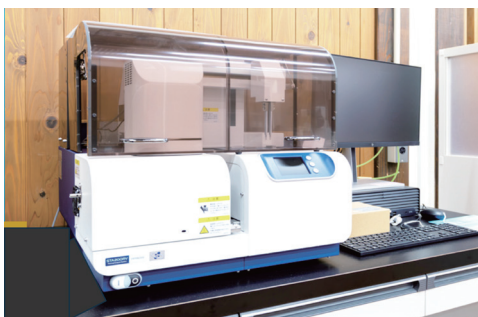


しこちゅ〜コモンズは紙の未来を創造するオープンイノベーション施設

令和8年4月、妻鳥町にある愛媛大学紙産業界イノベーションセンター内に、大学と複数の企業が連携し、新たな技術や製品の開発を進めるオープンイノベーション施設「しこちゅ〜コモンズ」が完成しました。

「日本の紙のまち」に誕生した本施設は、市内の紙関連企業が集まり、新たな紙素材や技術、製

充実した実験機器が研究や製品開発を支える



品の創出に取り組む拠点となります。

施設内には、紙の高機能化や製品化の研究などに活用できる実験機器が整備されており、企業が共同で利用できます。

関係機関が連携し、それぞれの得意分野を活かして研究や開発を進めることで、本市の経済の活性化と紙産業の更なる発展が期待されます。

# コモンズ4つの重点機能

## かみのまち工房

### 実証研究機能

紙を製造する企業と、それを利用する出口企業が連携し、実際の用途を想定しながら試作や検証を重ね、紙製品の実用化と社会への展開を進めます。

## かみのまち研究所

### オープンラボ機能

地域の紙関連企業が連携し、それぞれの得意分野を活かして研究課題を分担することで、効果的な研究ができます。

## しこちゅ〜モデル

### イノベーションハブ機能

技術相談や各種講演会、セミナーを通じて、大学と地域の紙関連企業や業界団体との交流を深め、新たな取り組みが継続的に生まれる環境づくりを進めます。

## かみのまち学校

### イノベーションサロン機能

紙産業を担う人材の育成や、異なる分野の企業との連携を進めるとともに、研究から製品化までの実践的な経験を通して、事業スキルを高めます。

共同研究・開発で紙産業の持続的な成長へつなげる

## しこちゅ〜コモンズ命名の由来

「コモンズ」とは、人々が共同で利用する共有資源などを指します。しこちゅ〜コモンズには、本市の紙関連企業など多くの関係機関が集い、新たな紙製品や技術を生み出す場となるよう思いが込められています。

## 施設概要

### 建物構造

軽量鉄骨造 (2階建て)

### 建築面積

226.27㎡

### 延床面積

453.07㎡

## 用途

### 1階

共同実験施設

### 2階

オープンイノベーション推進施設

技術が高度

投資が大きい

単独では限界

1社では難しい研究や開発にも、関係機関が連携して取り組みます。



共同研究員室

## 問い合わせ先

愛媛大学  
紙産業イノベーションセンター  
妻鳥町乙127  
22-3230

詳しくはこちら▶



## ごあいさつ



愛媛大学  
紙産業イノベーションセンター  
藪谷智規センター長

## 産官金学連携の力で紙の未来を拓く拠点

この度、愛媛大学紙産業イノベーションセンターの機能を強化し、地域の紙関連企業や研究機関、金融機関などをつなぐ拠点施設が完成しました。本施設は、産官金学の連携を一層推進し、紙に関する新たな技術や製品

の創出を担う拠点です。このような拠点が整備できましたのも、本事業にご賛同いただきました皆さまの支援の賜物と、心より感謝申し上げます。これからも、環境に配慮した新しい紙素材や高機能な紙製品の開発に取り組み、地域産業の発展に貢献してまいります。